

「SARF +」：追加資料提出

2024年3月6日

ご質問事項について

【SARF+】

- 費用対効果を確認する必要があることから、1,350 万円の内訳が分かる資料について提供いただきたい。
- 本件アプリの容量等、来園者が万博公園内において提供している無料 Wi-Fi により本件アプリをダウンロードすることについて支障がないことを確認できる資料を提供いただきたい。
- 万博の森や日本庭園の見所等に係るコンテンツの追加をお願いしたい。なお、本件に係る内容については、府（事務所）より提供する。
- パビリオン跡チャンネルについてはその案内内容が不明であることから、具体的なイメージについて提供いただきたい。
- 実施に当たっては、ビーコン等により収集したデータについては府（関係機関）施策検討の際にも活用できるものであることから、提供いただきたい。また、コンテンツの情報の更新頻度を高めることはもちろん、継続的なコンテンツの充実にも努められたい。
- 実施に当たっては、こうした仕組みがあることを来園者に知ってもらうことが重要となるが、どのように周知・発信を図っていく予定であるのかお示しいただきたい。

来園者にとって何度も訪れて聞いてみたくなるよう、
コンテンツの更新や充実も視野にいたかたちで、費用を試算。

費目	内容	単価	数量	小計
初期導入開発費		2,000,000	1	2,000,000
スポット開発設定	70スポット想定（ビーコン/GPS）	50,000	70	3,500,000
チャンネル数設定		850,000	3	2,550,000
言語対応	日本語・英語・中国（簡体/繁体）・韓国語	200,000	5	1,000,000
言語対応：翻訳	英語・中国（簡体/繁体）・韓国語	100,000	4	400,000
音声設定：日本語	ナレーターによる音声収録	300,000	1	300,000
音声設定：他言語	合成音声	100,000	4	400,000
プロローグ	エリアやチャンネルのトップページに音声テキスト、映像を表示	500,000	1	500,000
手動再生切り替え設定	手動再生切り替え設定	300,000	1	300,000
月額更新費用	メンテナンス含む	50,000	53	2,650,000

13,600,000円

アプリ容量（サイズ）は、他アプリサービスより小さく、
ユーザーダウンロードの際の支障にはなりません。

<p>情報 </p>		
<p>販売元 Avex Fan Marketing Inc.</p>	<p>サイズ 39.5MB</p>	<p>カテゴリ エンターテインメント</p>
<p>互換性 iPhone iOS 14.0以降が必要です。</p> <p>iPod touch iOS 14.0以降が必要です。</p> <p>Mac macOS 11.0以降とApple M1以降のチップを搭載したMacが必要です。</p> <p>Apple Vision visionOS 1.0以降が必要です。</p>	<p>言語 日本語、スペイン語、フランス語、簡体字中国語、繁体字中国語、英語、韓国語</p>	<p>年齢 4+</p>
<p>位置情報 このアプリは使用中に限らずあなたの位置情報を利用する場合があります。そのため、バッテリー駆動時間が短くなる可能性があります。</p>	<p>Copyright © Avex Digital Inc.</p>	<p>価格 無料</p>
<p>アプリサポート プライバシーポリシー</p>		

<代表的なアプリのファイルサイズ（例）>

SNS系アプリ

- ・LINE 181.5MB
- ・Facebook 295.4MB
- ・Twitter 107.1MB
- ・Instagram 85.3MB

EC・フリマ系アプリ

- ・楽天市場 71.3MB
- ・メルカリ 65.3MB
- ・Amazon 84.8MB

ニュース系アプリ

- ・Yahoo! ニュース 40.6MB
- ・SmartNews 16MB
- ・グノシー 40.6MB

※2018年時点でApp Store情報欄に表示されているサイズを記載。

万博の森や日本庭園の見どころについて、スポット情報を頂ければ、チャンネル追加頂くことは可能です。



建物系

自然系

出展跡地系

アーティスト連携

万博の森

日本庭園

スポットでの必要情報

- スポット場所
- スポット写真
- スポットタイトル
- スポット説明文
- スポットURL (あれば)
- コンテンツ音声シナリオ

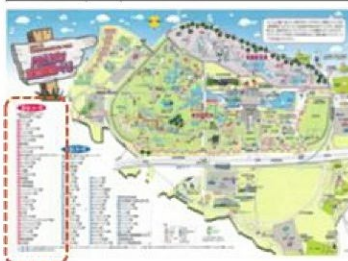
日/英/韓/中 (繁体/簡体) 対応。

WEBサイトコンテンツを基本とした、万博時の内容紹介を想定しています。
 (園路での半日コースで紹介されるスポットを網羅する想定。)

「パビリオン跡地チャンネル」として、以下のスポットをコンテンツ化。
 (園路に近い半日コースの跡地紹介を想定。必要に応じて、随時追加可能。)

季節	No.	場所
通年	1	フランス館
通年	2	ドイツ館
通年	3	オーストラリア館
通年	4	アメリカ館
通年	5	ロサンゼルス市館
通年	6	アラスカ州館
通年	7	英国館
通年	8	トルコパキスタンイラン館
通年	9	アフガニスタン館
通年	10	カンボジア館
通年	11	ギリシア館
通年	12	ソ連館
通年	13	ブルガリア館
通年	14	香港館
通年	15	大韓民国館
通年	16	中華民国館
通年	17	ニュージーランド館
通年	18	インドネシア館
通年	19	タイ館
通年	20	エチオピア館

通年	21	アブダビ館
通年	22	クウェート館
通年	23	EC館
通年	24	ポルトガル館
通年	25	ブリティッシュコロンビア館
通年	26	スカンジナビア館
通年	27	アルゼンチン館
通年	28	オランダ館
通年	29	ワシントン州館
通年	30	電気通信館

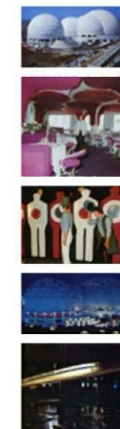


フランス館

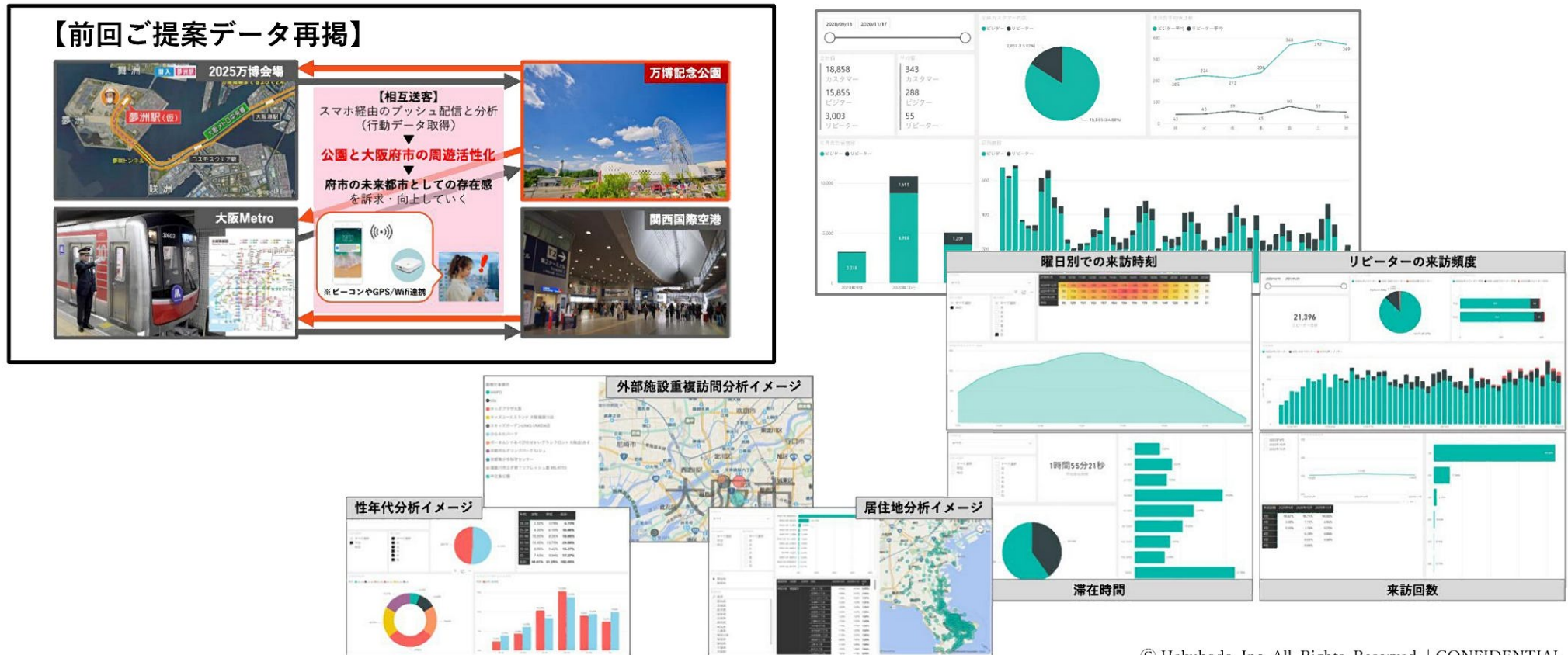
テーマは「生命の樹—よりよい生活の設計」

建築

四つの白い球体が並んでおり、そのうち三つは互いにかみ合った形の半球体、お祭り広場に隣接した東側の球体は完全な球体で、下部が地中に埋められていました。展示館の原設計は、フランス国内で懸賞募集された1等入選作品で、エア・ドーム4個による球体の集合体でした。しかし、実施段階では、この原設計に大幅な修正が加えられ、エア・ドーム構造から鉄骨造半球体の組み合わせに変更されました。ドームに張りつめられたパネルは、グラスファイバーで強化されたポリエステル樹脂を表と裏に使い、その間に発泡ポリウレタンをはさんだ厚さ14ミリメートルの三角形パネル約2,700枚で構成されており、三角形の各交点に1,235個のストロポランプが取り付けられていました。パビリオンの外観は夜は鋭い光が点滅し、昼は白い塗装が優雅で清楚な印象を与えました。



ここでビーコンなどで得られた訪問者データは、ダッシュボードから自由に、大阪府市の他施策に活用頂くことが可能です。（訪問状況によってコンテンツも可変。）

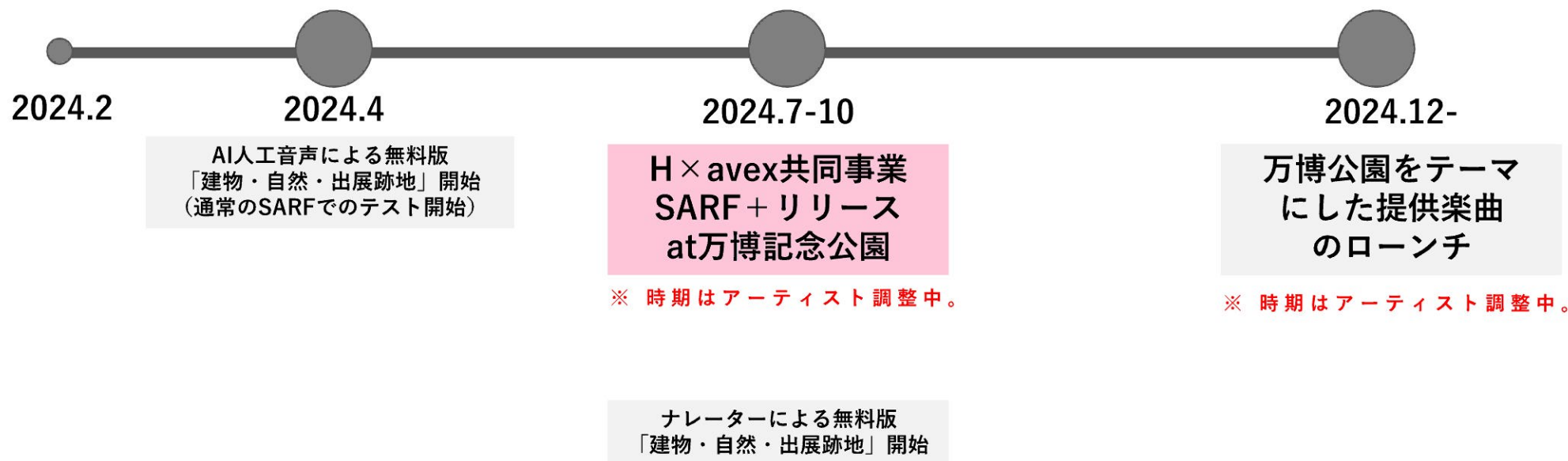


通常営業時やイベント時それぞれでの園内ポスターなどで、SARF+サービス活用の魅力を伝え、ダウンロードを促していきます。

【他SARF活用事例でのポスター例】



スタートは、2024年4月に、AI人工音声でのスタートを想定。
大々的なリリース時に、ナレーター音声での再録音を想定。



SARF + 本格稼働期に、万博記念公園での記者発表を想定。
アーティスト本人出演/動画コメントにより、万博記念公園の楽曲制作も発表。



※ 楽曲の完成が想定される時期には、FM802などと連携した公開収録兼ミニライブ実施も検討。